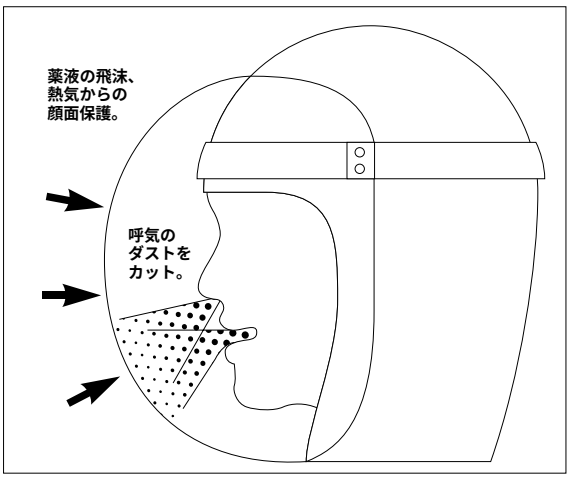
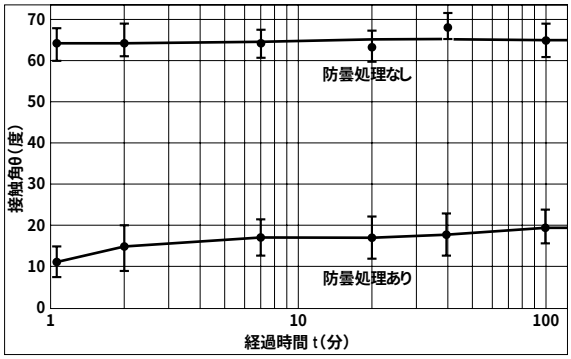
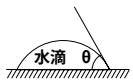
■クリーンバイザー　　9-240-01

■特長



■防曇効果の検証実験

温度23±1℃、湿度45～50%の状態のクリーンルームにて、防曇処理あり・なし、それぞれのクリーンバイザーを装着。軽作業を行い、防曇性能を比較しました。



θはクリーンバイザー表面と水滴が作る接触角です。θが大きくなると水滴は球状に近づき、光を屈折させくもりとなります。θの角度の大小で、防曇効果の持続性が把握できます。